

【令和元年度 自己評価結果公表シート】

学校法人直江津龍谷学園 真行寺幼稚園

1. 本園の教育目標

(教育目標)

「浄土真宗の精神」にのっとり、宗教的情操の豊かな人材を教化育成することを目標とする。

(教育方針)

- 1) 「仏さまをおがむ子」 たくましい豊かな心をそなえた子
- 2) 「ありがとうの言える子」 感謝と協調のできる子
- 3) 「よく聞く子」 聞く態度を身につけ、探求と創造と自立を目指す子
- 4) 「なかよくする子」 助け合うことに喜びを感じ、仲間作りにはげむ子

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- 1) (教育方針) 「よく聞く子」 聞く態度を身につけ、探求と創造と自立を目指す子

①子ども達にとっては、何をするにも生まれてはじめての事ばかり。はじめから上手にできる子はいません。失敗し、間違い、泣きながら成長するもの。「幼稚園は失敗してよいところである」ことを実感できるよう教育、配慮する。

②失敗や間違いを認め（聞く態度）、その失敗や間違ったことに対し、積極的に（探求）チャレンジ（創造）して、成功体験につなげて欲しい。その成功体験から（自立）がうまれてくると考える。

- 2) 「幼児教育無償化」への対応

- 3) 「食育」の充実と「食の安全向上」

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
「よく聞く子」を育む	A	<p>教職員間で情報交換をし、担任学年を問わず、園児の努力や体験を認めた。そこから失敗や間違いをおそれず、積極的にチャレンジする姿が見られた。必要などときには保育者のアドバイスを求める姿もみられた。</p> <p>外部からの講師や企業関係者から、当園の園児の聞く態度や取り組む姿勢についてお褒めの言葉をいただくことが、今年は特に多かった。</p>
幼児教育無償化への対応	A	<p>円滑に「幼児教育無償化」に移行できるよう、事務ならびに会計などの運営業務に取り組んだ。移行後も、順調に運営できている。</p>
食育の充実 食の安全向上	A	<p>昨年度、栄養士が退職し、新たな栄養士になった。学校給食の栄養管理の経験もあり、新しいメニューも数多く取り入れた。子どもの苦手な食材も新たな調理法で食べやすくなった。</p> <p>給食室の改修も行った。春休みにはエアコンを導入し、夏休みには給食室を大規模改修し、衛生管理ならびに食の安全に配慮した。あらたにスチームコンベクションオーブンを導入したことにより、調理方法とメニューの幅が広がった。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や総合的な評価結果

評価	理由
A	<p>取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、実践することができた。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教育の質向上のための活動 見直し	これまで、子ども達にとって良いと思われる活動を次々に取り入れてきた結果、毎日活動に追われているという現状に陥っている。それぞれの活動を「ふり返る」、「考える」、「発展させる」という時間が少ない。限られた時間の中で、幼稚園でしかできないことを重点として活動を見直す。子ども達が自ら考え、意欲を持って活動できる時間を設ける。
遊びの環境充実	教室、ホール、園庭の「遊び」の環境について、より遊び込むことができるよう教材や配置を工夫する。
安全管理	園内の安全管理については、これまでおおくの時間を費やし、教職員間で話し合い、改善してきた。また、園児への指導についても十分な時間を設けている。昨年は全国で、登下校中や校外園外での事件や事故が多くあった。園庭、境内、お散歩など、園外での保育の安全管理について見直す。

6. 学校評議員の評価

2月16日に「学校関係者評価委員会」が開催され、教育や保育に関しては特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。運営面では、新潟県の財政悪化による助成金の減少についての心配をいただくが、国からの助成金にてカバーできる旨説明した。

評価委員の事前アンケートなどは、別紙の通り。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。